

北海道研究林における社会教育事業について

－ひらめき☆ときめきサイエンス

「大学の森で学ぼう 2012」の実施協力について－

北海道研究林 柴田泰征

1. はじめに

北海道研究林では、教育活動として学生実習以外に一般への公開や社会教育活動を行っている。今回その中で独立行政法人日本学術振興会（以下「振興会」）の事業「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI」に館野准教授代表の実施分担者として参加することができた。分担者は、京都大学の大学院生、北海道研究林の事務職員と技術職員で、振興会の実施の要項にしたがいながら北海道研究林の社会教育活動としておこなった。概要を報告するとともに広報や事前準備など技術職員が主におこなった業務について報告する。

2. 事業概要

本事業は、振興会の研究成果の社会還元・普及事業で、館野准教授により申請し採択され、実施報告は振興会やフィールド研のホームページにて報告がある。事業概要は、日時：平成 24 年 7 月 28 日（土曜日）9:00－17:00、場所：北海道研究林標茶区、参加者：8 名、内容：講義、樹木実習、草木染め実習、森林調査体験で実施経費は振興会からの補助により、また後援を標茶町教育委員会よりいただいております。

3. 募集内容・広報・事前準備

募集内容は、定員：20 名、対象：小学 5、6 年生および中学生、参加費：無料、持物：野外活動のできる服装、筆記用具、また対象の参加者には弁当と記念品の配布があった。応募方法は、はがき、メール、FAX、振興会のホームページの申し込みフォームで、応募締切を 7 月 10 日とした。

広報は、6 月 8 日のホームページ公開を皮切りに順次、ポスターとチラシの発送、プレスリリースや新聞広告、駅貼りポスターをおこなった。ポスターとチラシの配布にあたっては、釧路教育局管内 8 市町村の 110 校の小中学校に管轄するそれぞれの教育委員会を通して掲示・配布依頼をおこない、さらにチラシについては対象の全児童に行き渡るよう配布依頼をおこなった。また、標茶町内の 15 校の小中学校については別に申し込み書付チラシを作成し、教育委員会の協力により対象学年の全児童に配布をおこなった。釧路駅の有料掲示板にポスターを 6 月 27 日からの一週間を掲示した。一方、新聞関連では、有料広告を 7 月 2 日に北海道新聞に掲載し、またプレスリリースにより 7 月 5 日に北海道新聞の記事に取り上げていただいた。

事前準備については、まずは当日の安全を第一に考えておこなった。森林内を安全に歩行するための草刈りと蜂の巣や倒木の危険性の確認などを実施日の直前におこなった。次に参加者が安心して参加できるための準備をおこなった。緊急時の連絡体制の確保や約 50 km離れた釧路市からの送迎体制、またそれらの対応のための Q&A をあらかじめ作成し準備をおこなった。とりわけ混乱を招かないよう注意したことは、参加対象者以外の保護者や見学者の見学も可能ではあるが、参加対象者とは異なり当日のイベント保険（傷害保険）の加入や弁当の支給がないことであった。このことにより、林内への同行や弁当の準備について周知の徹底に注意した。

4. 当日の様子

当日のスケジュールを表-1に記す。まず当日は釧路駅での受付から始まった。研究林への移動について、計画では運転手つきの貸切りバスも予定していたが、釧路地域からの参加者が少ないこともあり、レンタカーによる技術職員の運転で対応した。9時から開講され、その後ミニ講義と草木染め実習などをおこなった。草木染めの材料は樹木や草などを観察し識別しながら集めた。材料を煮詰めたり媒染液に浸したりなどの作業は技術職員の指導によりおこない、また草木染めの化学的解説や実験は館野准教授によりおこなわれ、参加者は興味をもって参加していた。(写真-1)

表-1 当日のスケジュール

| | |
|-------------|----------------------------------|
| 7:15- 7:30 | 受付(釧路駅改札前) |
| 7:30- 9:00 | 釧路駅出発 研究林へ |
| 9:00- 9:10 | 開講式 (あいさつ、オリエンテーション、安全講習、科研費の説明) |
| 9:10- 9:30 | ミニ講義(森のはたらき・講師:館野隆之輔) |
| 9:30-10:10 | 樹木実習と草木染め材料集め(見本園) |
| 10:10-11:30 | 草木染実習(下準備・見本園) |
| 11:30-12:15 | 昼食 実施者・実施分担者・実施協力者らとの交流タイム |
| 12:15-12:30 | 研究林内の天然林へ移動 |
| 12:30-15:00 | 野外実習 |
| 15:00-15:15 | 休憩 |
| 15:15-16:15 | 草木染実習(仕上げ・見本園) |
| 16:15-16:40 | 発表会(作品と学んだことの発表会・記念撮影) |
| 16:40-17:00 | 閉講式(「未来博士号」授与式、アンケート記入、あいさつ) |
| 17:00-18:30 | 解散:研究林から釧路駅へ |



写真-1 樹木観察と草木染め解説の様子

終わりに

事業終了後の参加者へのアンケートには、とてもおもしろかった(78%)、おもしろかった(22%) 科学に興味が非常わいた(45%) 科学に少し興味わいた(55%)と参加者からの評価は非常に高かった。

一方で課題としては、募集に対する応募者が少なかった。今回の事業は振興会の補助金により広報をおこなうことができたため、地域の小中学校に対してある程度は周知できたと考えられる。しかし当日は、広報の方法や開催日程、内容等いろいろな要因があると考えられるが参加者が少なかった。また直接関連はないように思えるが、当日は釧路市で大きなお祭りがあった。今後、広報の方法やタイミング、さらには開催日程や開催内容についてもいろいろ工夫する必要があると考えられた。そして、このような社会教育活動を継続し北海道研究林がより周知されるよう努力も必要であると感じた。